

定量分析とその応用		担当教員：向原 強	2単位
設 題	<p>通信教育部POLITEの「総演習（レポート課題）」にある「小テスト課題（レポート課題）」および「演習課題」に取り組みなさい。</p>		
<p>小テストは、正誤は表示されませんが、自動採点され、何度でも受験し直すことができます。<u>最高評点を、成績評価に加味します。</u></p> <p>演習課題は自動採点されません。期末試験終了後、教員が採点します。この点数も成績に加味します。</p> <p><b>演習課題は、POLITEからダウンロードしたExcelシートに取り組み、そのファイルを、<u>通教POLITEの課題モジュール</u>に提出してください。決められたファイル以外で提出しても採点不能で0点となります。通教POLITEやファイルに解答方法の指示があるので、それに従ってください。</b></p> <p>小テストの評点パーセンテージが80%以上であり、かつ、課題演習を提出したら、「レポート課題用評点画面」をクリックし、「自分の名前」から小テストのパーセンテージを含む領域をブラウザ上に表示した状態で、スクリーンショットをとってください。Windowsを使われているかたは「Snipping Tool」を利用すると便利です。そのスクリーンショットを画像ファイルとして保存し、「無限大キャンパス」にレポートとして提出してください。スクリーンショットとして提出することで科目試験を受験できるようになります。</p> <p>なお、<b>小テスト(60点満点)と演習課題(40点満点)の合計点が60点未満(100点満点)である場合※や、異なる学期の評価の結果を提出した場合は不合格になります</b>ので、注意してください。</p> <p>※レポート課題は、小テストが48点(80%)以上であっても、演習課題(40点満点)の得点が12点未満の場合は不合格になる可能性があります。小テストは満点を目指しましょう。※スクリーンショット送信時点では、「演習課題」の成績は評価されていません。</p>			
d			
作成方法は、通信教育部POLITEで確認すること			
ワープロ	用紙等：(例)本学通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等(無地)		
筆記	筆記用具：		
	用紙：		
文字数等	(文字数の指定が有る場合、全体で何文字以内、或いは設問毎に何文字以内等と明記してください)		
注意事項			
その他			